

うんです。そういう外国にルーツを持つ子供たちにもいろんな選択肢がある浜松市になったらいいなって私は思います。

―選択肢というのは例えばなんですか？

エ 例えば市役所で、日本人にしかできない職種があるじゃないですか。でもこれから時代がどんどん進むにつれて、ブラジル国籍でもポルトガル語が話せない人の割合が多くなっていくと思うんです。言葉も文化的にも日本人と同じなのに、国籍で縛っちゃうと受けることもできないし、優秀な人がいても採用できない。それは浜松市にとってはすごい損失になると思うんです。

ス 消防士は日本国籍が無いと受けられませんよね。教師も専任の講師にはなれるけど、教頭や校長などの管理職にはなれない。

エ 確かに能力は個人的なものですけれど、まずは国籍という壁を取ってみんなに平等の可能性を与えることが大事だと思うんです。

ス 国籍のこともあるけれど、例えば就職試験では英語やポルトガル語で試験を受けられるようにすればいいのに、高校受験も。

エ 難易度を変える必要は無いと思うんです。時間が経つにつれてその難易度に到達する人たちが出てくるわけですから。でも例えば大学入試センター試験では科目にポルトガル語を設けてもいいのではないかとは思いますが。

ス そうですね。

―ステラさんは？

ス そうですね。私も今、国籍は二つ持っています。自分も旅行する際に便利だから日本国籍を持っているんですけど、あんまり考えたことないというか、国籍にそんなにこだわりはないかな。自分の中に二つの文化を持っているので、でも公務員を目指しているので、日本国籍がないとダメなんですよね。

自分はナニジン？

―何人(ナニジン)？って聞かれたことはありますか。そのとき何て答えていますか？

長 ハーフです、って。

ユ 私、顔は普通に日本人扱いから名前を見て「え、カタカナなんだ」と言われて、話が進むと「何人なの？」と聞かれるんだけど、今でも何て言えはいわからなくて。「どちらかという日本人」、「でもブラジル生まれなんですよ」、「でもルーツは沖縄なんですよ」って答えると、「え、何？」って言われる(笑)。訳わかんない。だからこれまでの歴史を話さなきゃいけないんだけど、そういうことを深く話すのはこれからも関わっていくだろうという人。スツとすれ違うような人には「ハーフです」で終わっちゃう。ハーフじゃないけど、ハーフのようなものです、って。

―ユカリさんのお姉さんは「ブラジル系日本人」という言葉を使っていたこと

エ 人口的にみてもブラジル人は多いですし、入れない理由はないんじゃないかなって思うんですよ。

ス 高校受験でもそういう採用枠をつくるとか。そんなにたくさん入れなくてもいいから、浜松市内どの高校も5名ぐらい受け入れます、みたいな。そういうのがあったら、外国にルーツを持つ子供たちの進学率も良くなりそう。

長 一般枠だと埋もれちゃうよね。

エ そうそう、今も大事だけど、将来的なことを考えた投資があるといいなと思います。以前、インドネシア人が日本の介護福祉士の国家試験に日本語で受かった、というニュースがありましたし

たが、同じように不可能じゃないから難易度を下げるのではなく、平等に受けさせる環境を整えてあげるのが大事かなと思います。

自分にとって国籍とは

―国籍については皆さんどう考えていますか？

エ 旅行するために必要なものです。うちの会社からは出張のときに日本国籍

の方が楽だから取ってくれって言われています。別にまあそれくらいかな、って思っちゃう。別に取らなくてもいいんだっつたら、取らないかな。今はブラジル国籍とペルー国籍もあるの。

日本国籍は便利だから取ろうと思っただけですけど、日本の企業に入れたし、アメリカに簡単に入国できるかどうかの基準はありますが、あまり不自由はないから、今そこでストップしています。

ユ 私は二重国籍なんですけど、ブラジルの国籍が無くなったらほぼ日本人というか、ルーツのよりどころがなくなる気がして。見た目も日本人扱いし、血筋もほぼ日本人。祖父父母がブラジルに移住しただけで。でもやっぱり国籍は大事だと思います。ブラジル国籍も日本の国籍も両方大事。だから選ばなきゃいけない、二重国籍はダメだって言われるのが理解できなくて。なんでだめなんだろう、って。22歳までに選べって言われるのがすごく辛い。なんで選ばなきゃいけないんだろう、と思います。

長 私は日本国籍なんですけど、昔は二重国籍だったみたいです。日本に来てからこれからはもうずっと日本国籍なんだらうな、って思っています。公務員だし。そう考えても日本国籍なんです。昔、「将来どっちか選ばなきゃいけないよ」って言われたときは、結構悩んでいたんですけど、今、日本に住んで、フィリピンにも自分のルーツがあるので、国籍がどうのというのはあまり気にしていません。

HICEに期待すること

―これからHICEに期待することはありますか？

長 HICEの企画って外国のルーツを持っている人や外国人の支援が多いですよ。逆に日本人が関わるような企画をもっと考えていいんじゃないかなと思います。

ユ HICEは外国にルーツがあるからこそ関わるというイメージが強いですが、でも日本人も関わってもいいですよ、もちろん。

―日本人のためとか外国人のためとかじゃなくて、みんなに関係あることなんだよ、って思ってもらえるようにしたいじゃないですか。

ス そうですね。外国にルーツを持つ人のライフストーリーはよく聞きますが、逆に日本人で外国とつながりを持っている人のライフストーリーを聞いてみたいですね。結構いるみたいなので、そういうのも良いかなと。

―なるほど。そういうみんなのアイデアをうまくHICEを使ってもらって実現できたらいいなと思います。何かあったら声かけてください。

全員 はい、これからもよろしくお願ひします。

※注 COLOMCA(カラージョ)とは、浜松で活動する外国にルーツを持つ若者グループ、HICE主催のイベントを企画したことをきっかけに2014年に発足、約10名のメンバーで高校生向けの進路ワークショップの企画や講演など、自分たちの経験を活かした活動をしている。



がありますか？。
ユ へー。
エ そう、僕もそれ引用したことある。それが一番しっくりくるかもしれないですね。「日系ブラジル人」だと、母に言わせると「いや、あなたは日本人だよ」って。「私、何世なの？」って聞いても「いやあなたは日本人だよ」って答えてくるので「でもブラジル生まれじゃん」ってずっと会話が続く(笑)。

―ステラさんは「フィリピン系日本人」という言い方はどうですか？
ス 聞かれたら「母はフィリピンの人です」と言います。ナントカジンという言い方はしなくていいですね。フィリピンの人に最近よく「タイ人ですか？」って聞かれるんですけど(笑)。「あれ、タガログ語じゃべれるんだ。ずっとタイの人かと思ってた」って。あんまり、「ナントカジン」という言い方は好きじゃないんですよ。人のこともそういう風に呼びたくない。あの人はインド出身だよ、とかそういう感じで言う。自分の中のこだわりなんですけど。